教育改革で高い人間力を備えた人づくり

問 教育行政は、地方自治法の規定により設置された教育委員会が行うこととされている。

現在、教育委員会の指揮監督の下、教育長は各種の改革、改善を行っているが、その前提には市長の任命がある。

①市長は就任以来、深い関心を持って教育行政を推進してきたが、市長の思いがどの程度実現でき、効果を挙げてきたのか。

②小中一貫教育の実施は、市長の理想とする義務教育のあり方なのか。

答 ①持続可能なまちづくりの実現には、高い人間力を備えた人材の育成が不可欠であることから、17年度には市の人づくりの指針として「宮っこ未来ビジョン」を策定し、教育改革に着手した。

これまでの教育改革を通して、市独自の食育・徳育・親学の推進や子どもたちの学力・体力の向上、さらには、全国に誇れる教育環境の整備が実現しており、まちづくりを支える人材の育成に向けて着実に進んでいると受け止めている。

②高い人間力を備えた人づくりには、人としての基礎を学ぶ義務教育の担う役割が大変重要である。

このため、小中学校がつながりを深め、地域の教育力を生かしながら、9年間を見通した教育が必要であることから、小中一貫教育と地域学校園を推進していく。

常任委員会の審査から

総務常任委員会

○平成23年度宇都宮市一般会計予算

議案の概要 歳入については、市税の増加などにより、前年度から1.5%の増加となっている。

歳出については、総務費において大型映像装置設置や、土木費において宇都宮駅東口整備費などを計上しようとするもの。

質疑 「コールセンター開設の目的と効果をどう考えるか」との質疑に対し、「電話による問い合わせに対し、ワンストップで回答するものであり、直接的なサービスの向上が図られる」との説明があった。

委員会の結論 全会一致※で原案のとおり可決。

▲ガレキが積まれた道場宿緑地

○平成23年度宇都宮市一般会計補正予算

議案の概要 災害復旧に係る不測の事態に対応するため、予備費3億円を追加計上しようとするもの。

質疑 「市内の被災者のなかには、ガレキの処分方法が分からないなど、情報不足により困っている方が多数いるが、市民からの相談への対応や情報発信について、どう考えているのか」との質疑に対し、「本庁に総合相談窓口を設置し、対応しているところである。また、広報うつのみやで、行政が支援できる情報や相談窓口の設置を周知していく」との説明があった。

さらに「情報弱者に対し、あらゆる手段を活用し、情報発信に努めてほしい」との要望があった。

委員会の結論 全会一致で原案のとおり可決。

全会一致…委員全員の賛否が一致すること。

厚生常任委員会

○平成23年度宇都宮市一般会計予算

議案の概要 総務費において、地域の防犯活動の推進に要する防犯対策費、衛生費において、がん検診などの健康診査、乳幼児健康診査を受診していない家庭を全戸訪問するすこやか訪問事業を実施する母子保健費などを計上するもの。

質疑 「がん検診の受診率向上に向け、どのように取り組むのか」との質疑に対し、「乳がん・子宮がん検診において、20代、30代の受診率が低いことから、新たに専用受診券を作成して周知啓発を強化するとともに、託児つき検診の回数を増やすなど、受診しやすい環境づくりに取り組んでいく」との説明があった。

委員会の結論 起立採決※の結果、原案のとおり可決。

○宇都宮市養護老人ホーム設置条例及び宇都宮市軽費老人ホーム条例の廃止

議案の概要 新たに民設民営の老人ホームが整備されることに伴い、ちとせ寮及び松原荘を廃止しようとするもの。

委員会の結論 全会一致で原案のとおり可決。

○平成22年度宇都宮市一般会計補正予算

議案の概要 被災者に対する見舞金支給に伴う小災害援護費、障がい者福祉施設や保育園、老人福祉施設などの民間社会福祉施設の修繕を助成するための障がい者福祉施設運営等助成費などを追加計上しようとするもの。

委員会の結論 全会一致で原案のとおり可決。

▲幼児健康診査の様子

起立採決…委員の賛否が分かれ、賛成者が起立する方法で採決すること。